



## KINARI (キナリ)

本町五丁目に立つ「金善ビル」の1、2階部分が改修され、今年5月、新たにショップ兼工房「KINARI (キナリ)」としてオープンした。繊維加工業・株式会社ユニマーク（相生町、尾花靖雄代表取締役社長）のウェブ通販事業部門の移転に伴うもので、国内の優れたギフトや自社のオリジナル商品を扱うほか、その場で購入した商品への刺繍やプリント加工も行い、刺繍業を基盤とするユニマークならではのサービスも提供する。

金善ビルは大正末期に建てられた地上4階建て鉄筋コンクリート造りのビルで、国の登録有形文化財。1917年（大正6）には力織機200台に従業員170人と、市内有数の規模を誇った金善織物工場の出張所として機能した。第二次世界大戦中、企業の統合整理により廃業に至るが、老朽化のため取り壊された5階部分以外、当時の姿のまま事務所ビルや飲食店として利活用されてきた。

1階部分で主に扱うのは、今治タオルや江戸切子など贈答用にも最適な生活雑貨。横浜や小樽の文化財活用事例を参考に、約5mの天井から降りるシャンデリアや建設当時の意匠を残した内装など、店内には大正浪漫の雰囲気が漂う。開放的で洗練された空間には、カフェコーナーも設けられる。2階では刺繍やプリント機を設備し、オリジナルのマーキング加工に対応する。今後は工房としての整備も計画され、ワークショップなどを通じて広く繊維に触れる機会を創出する。

施設名の「KINARI」は、染色または漂白される前の天然繊維の色「生成り」から。建設から約1世紀、さまざまな変遷をたどってきた金善ビルが、今再び「まっさら」な状態で繊維に回帰する。また、近代化産業遺産を再利用した好例であり、「繊維のまち・桐生」の窓口として観光の分野でも期待が高まる。「可能性は未知数ですが、地域活性化に貢献できるようにチャレンジしていきたい」と尾花社長。「ものづくり」と「観光」の両輪を携えるKINARIは、新たなランドマークとしてまちの中心地にそびえる。

- 住所／桐生市本町5-345 ●電話／0277-47-6977
- 営業時間／午前11時～午後6時 不定休
- HP／<https://kinari.shop/> ●ユニマークHP／<http://www.unimark.co.jp/>



まちなかにそびえるランドマーク  
金善ビルが繊維の拠点に回帰